

競技別実施要項
【空手道競技】

1 期 日

平成22年7月24日(土)	審判・代表者会議	午前 8時30分
	開会式	午前 9時30分
	試合開始	午前10時00分
平成22年7月25日(日)	試合開始	午前 9時00分
	閉会式	午後 3時00分

2 会 場

小瀬スポーツ公園武道館

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840 TEL 055-243-3115

3 競技及び構成

- (1) 同一団員が形と組手の両方に出場することは出来ない。ただし、大会日において、ケガ及び傷病等により欠場団員が発生した場合は、別の種目より同学年の団員が出場できる。
- (2) 団体「形」 各都県男女各2チーム
(先鋒4年生・中堅5年生・大将6年生の各学年1名 計3名で1チームとする。)
- (3) 団体「組手」 各都県男女各2チーム
(先鋒4年生・中堅5年生・大将6年生の各学年1名 計3名で1チームとする。)

4 競技規定及び方法

- (1) 財団法人全日本空手道連盟競技規定及び、関東ブロックスポーツ少年団空手道競技の申し合せ事項による。
- (2) コートは安全確保のため空手マットを使用し(8メートル×8メートル)、男子2コート、女子2コートの4コートで行なう。
- (3) 男子・女子とも安全のためそれぞれ指導者1名(計2名)をつける。
指導者は2名までとし、腕章を交代で用い同時に2名を超える指導者がアリーナに入らないこと。
- (4) 団体「形」
 - ア) 各チームをA・B・C・Dの4ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行なう。また、下位のチームは交流戦を行う。
 - イ) 審判員は、5人によるフラッグ方式で行なう。
 - ウ) 予選リーグ及び交流戦は2名同時に演武し、決勝戦では1名ずつの演武とする。

- エ) 演武する形は、予選リーグは、指定形（第一・第二）とし、決勝トーナメントは自由形とする。
- オ) チームの勝敗は個人の勝数によって決まる。チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- カ) チームの順位決定は対チーム勝数による。同数の場合は総得点の多いチームを上位とし、更に同数の場合は直接対決の結果による。
- キ) 交流戦の演武する形は、予選を含む自由形とする。

(5) 団体「組手」

- ア) 各チームをA・B・C・Dの4ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行なう。また、下位チームは交流戦を行う。
- イ) 審判員は、主審 1名・副審 3名・監査 1名とする。
- ウ) 時間は 1分30秒フルタイムとし、個人の勝敗は4ポイント差とする。
- エ) チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- オ) 棄権及び反則負の場合は 4-0 とする。
- カ) 予選リーグの順位の設定は、チームの勝敗数を比較し、同数の場合は勝者と敗者の得失点の比較による。更に同率の場合は、得点の得失点数による。それでも決まらないときは、直接対戦の結果による。決勝トーナメントにおいては、勝敗が同数の場合は得失点数による。更に同数の場合は、代表決定戦を行い勝敗が決まらない場合は、再試合を行い必ず勝敗を決める。チームの勝敗が決まっても団員3名は競技を行なう。
- キ) 安全具については、J K F 指定のメンホー ・ ボディープロテクター ・ 赤青の拳サポーターを使用するほか男子はセイフティーカップを着用すること。
※ 拳サポーターについては、赤青とし、リバーシブルは不可とする。

- (6) 空手道着は、白色清潔なものを着用し、上着の背面中央にあらかじめ配布されたゼッケンをつける。

5 その他

- (1) 「競技運営事項」及び「審判注意事項」については、代表者会議において説明する。
- (2) 競技においては団員の安全を最優先し、連続して行なうことのないよう運用で工夫する。
- (3) 記念品交換は、各チームが色紙を3枚用意し、予選の試合ごとに交換を行う。